

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	－	－
	○	衣料品専門店（経営者）	・4月は天候が良く、売上は良かった。5月も天候が良ければ売上は確保できる見込みである。
	○	家電量販店（副店長）	・半導体不足、部材不足、エアコンの新たな省エネ基準の影響により前倒しの需要が見込まれる。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・気温が暖かくなり、お中元時期も近づくので良くなる。
	○	タクシー運転手	・燃料代高騰や物価高の声が多い。しかし例年は人の動きが上向きになる時期であるため、良くなるとみられる。
	□	商店街（代表者）	・ゴールデンウィーク及び夏場に予定されているイベントにより、地元客や観光客の人流ができるため、成果が期待できる。
	□	商店街（常務理事）	・中東情勢の影響等による物価高は、将来へ向けてのリスクを高めている。消費者の財布のひもは一段と固くなるとみられる。
	□	商店街（代表者）	・中東情勢の影響による原油不足や為替変動等による物価高も続いている。顧客動向の停滞が継続するとみられる。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・値上げの理由を理解している客に対する予約販売が中心となり、低価格を求める客への販売は減少する。
	□	百貨店（マネージャー）	・中東情勢が先行き不透明であり、当面の間、顧客の購買意欲は高まらない。
	□	スーパー（店長）	・物価高が続くことが予想される中、買上点数と来客数の回復が見込めない。
	□	スーパー（企画担当）	・引き続き商品単価の上昇が予定されているため、売上は増加するが、来客数、買上点数については減少するとみられる。
	□	コンビニ（総務）	・来客数増加の具体的な策がない。また、前年は芸術祭が開催されていたため、前年比では売上が減少するとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今後2～3か月景気は変わらない。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・中東情勢が落ち着き、物価が下落に転じることは当面は考えづらい。景気が悪化した状況が続くとみられる。
	□	家電量販店（店員）	・今後も価格高が予想され、本当に必要な物だけを購入するようになる。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・今後も販売停止車種が多い状況が続くため、大きな改善は見込めない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・中東情勢や物価高など、不安要素が多く購買意欲は上がらない。しばらくは現状のままである。
	□	一般レストラン（経営者）	・物価高は更に進むと考えられ、仕入先からも値上げを示唆されている。これから先も値上げを回避できそうになく、客の節約傾向は更に進むとみられる。
	□	観光型旅館（経営者）	・来客数、売上共に前年同期より増加している。景気は2～3か月前と同様に良い傾向にある。
□	都市型ホテル（経営者）	・状況がどのように変わるか不透明である。	
□	通信会社（営業部長）	・今夏の暑さの状況次第である。前年並みの気象状況の場合、来客数への影響が懸念されるが、夏季休暇などによる需要増加も見込まれることから、変わらない。	
□	通信会社（営業担当）	・来客数は前月や前年同月と比べて減少傾向である。各種商品の物価高などの影響もあり、購入意欲も低下傾向である。	
□	観光遊園地（主幹）	・イベント終了による集客への影響はあるが、インバウンドを中心に引き続き堅調な来客数が見込まれる。	
□	美容室（経営者）	・物価高や商品、製品が不足し仕入れに影響がでるなど、先が見えない状況である。	
▲	商店街（代表者）	・インフレが進んでいる。世界が大きく動いており、地方都市の活性化や街づくりは予想が困難である。	
▲	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・中東情勢により原油不足となっているが、便乗値上げもあるとみられる。値上げを通知してくるメーカーが増えており、今後2～3か月先も同じ状態であることから、売上は減少する。	

	▲	スーパー（店長）	・物価高と中東情勢の影響による原油不足により、景気に悪影響を及ぼす。
	▲	スーパー（企画担当）	・中東情勢の改善や原油の安定的な確保が望まれる。
	▲	スーパー（財務担当）	・中東情勢の影響により、石油関連でトレーなどの価格上昇が見込まれており、経営に大きな影響を与える。
	▲	スーパー（統括担当）	・包材、商品などの値上げ要請や調達が困難といった通知がきている。
	▲	コンビニ（店長）	・5月はゴールデンウィーク次第であるが、前半戦の4月後半からかなり購買意欲の弱さがある。この流れが続くとみられる。
	▲	コンビニ（店長）	・インフレにより、売上は増加しているが来客数は減少している。今後はさらに来客数が減少し、売上減少になるとみられる。
	▲	コンビニ（商品担当）	・中東情勢が改善しても、通常の商品価格帯に戻るまでに時間を要する。
	▲	乗用車販売店（役員）	・中東情勢の先行きに不透明感が強い。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	・現状は想定よりも良いが、今後は購入意欲を刺激する要因がなく、売上は減少するとみられる。
	▲	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・物価高の影響により外食から内食の傾向が顕著である。
	▲	旅行代理店（部長）	・中東情勢が不安定である。
	▲	タクシー運転手	・例年、暑くなってくると四国遍路の仕事が減少するため、売上は減少する。
	▲	美容室（経営者）	・常連客がほとんどであり、高齢化してきたので来店頻度が減少している。
	▲	設計事務所（所長）	・商品価格の動向が不透明な状態が継続し、景気は低迷する。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・中東情勢の影響、物価高、光熱費高騰など生活への不安材料ばかりであり、今後の動向は不透明である。
	×	衣料品専門店（経営者）	・中東情勢の影響がある。
企業 動向 関連  (四国)	◎	—	—
	○	—	—
	□	一般機械器具製造業（経 理担当）	・中東情勢の影響により、不透明感が増している。
	□	電気機械器具製造業（経 営者）	・良くなると考えている。
	□	建設業（経営者）	・相変わらず人手不足の状況にある。
	□	輸送業（経営者）	・このまま推移するとみられる。
	□	通信会社（総務担当）	・販売計画値やボランティア参加人数含め、例年と変わらないとみられる。
	□	通信業（企画・売上管 理）	・6～7月に開催されるスポーツイベントの盛況に付随したキャンペーンの広告増を期待するが、見込みは掲げられる状態にはない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・中東情勢の影響にて、包材、資材等が大幅に高騰、全てを製品価格に転嫁できず、利益率が下がる。
	▲	食料品製造業（商品統 括）	・為替変動により、物価高が進行する。一方で、景気後退を懸念し、金利の低下がみこまれる。
	▲	木材木製品製造業（営業 部長）	・中東情勢の影響を受けて仕入価格の上昇が止まらない。価格転嫁を急ぐ中で、欠品の可能性も説明しながらの交渉となっている。
	▲	パルプ・紙・紙加工品製 造業（経理）	・中東情勢の影響で、全ての資材が高騰している。販売価格への転嫁が困難であり、収益減となる。
	▲	電気機械器具製造業（経 理）	・中東情勢が不透明であり、原油不足、物価高により先行きの景気に大きく影響を与える状況が継続する。
	▲	建設業（経営者）	・中東情勢の影響が大きい。
	▲	金融業（副支店長）	・中東情勢の影響で7月に値上げが見込まれ、原材料が入らなくて生産が滞っている先が徐々に始めている。
	▲	不動産業（経営者）	・不動産の購入について一般の方も業者も非常に慎重であり、商談の長期化がみられる。中東情勢の影響が大きい。
	▲	広告代理店（経営者）	・中東情勢が不透明で原油価格の高騰や資材不足による影響により、影響を受けている客先の販売促進費は削減傾向である。一方、ホテルや旅行等の観光関係は、引き続き順調である。全体としては、例年よりやや悪くなるとみられる。

	×	繊維工業（経営者）	・資材不足により、受注分を出荷できないという事態が予測され、業績に大きな影響が出る。業界全体の問題であるが、後継者不足の中小業者の中には足元が明るいうちに事業をたたもつと、今年になって数社廃業した。このことは地域雇用と税収にも多大な影響が出るとみられる。
	×	化学工業（所長）	・資材不足による物価高や商品不足により景気は悪くなるとみられる。
	×	建設業（総務）	・中東情勢により、景気に不透明感がある。
	×	広告代理店（経営者）	・原材料価格の上昇が止まる材料がない。
	×	税理士事務所	・中東情勢等を見てもプラスとなる要因がない。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（経営者）	・夏休みに向けてのアルバイト募集の求人数の増加が予想されるため。
	□	人材派遣会社（オフィス責任者）	・良くも悪くも変化のきっかけがない。
	□	新聞社 [求人広告]（担当者）	・官公庁については堅調な需要がある。ここ2～3か月では大きな変化はないが、将来的には、個人消費と民間需要が伸びなければ楽観はできない。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・職種によってはまだ求人難のものはあるが、事務関係を中心に充足している職種もあり、全体的に大きな動きは見られない。
	□	学校 [大学]（就職担当）	・中東情勢や物価高等から先の経営環境はかなり不透明であるが、求人については当面は大きく変化しないとみられる。
	▲	人材派遣会社（総務部長）	・最低賃金上げの影響がある。
	▲	求人情報誌（営業）	・中東情勢の改善見込みがなく、建築や建設業界及び周辺業界、化学関連業界を始めとしたあらゆる業界で仕入価格の高騰、原材料の入手困難が続くと予想され、景気の悪化につながっていく。
	×	—	—